

英文學評議

第 XCI 集

資料紹介：「スプラーク委員会報告書」（1960年12月）抄訳と解説

..... 土屋由香

奥田俊介

進藤翔太郎 … 1

夏 イーディス・ウォートン

水野尚之 訳 … 一

京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会

『英文学評論』 投稿規定

- (1) 内容：英米文学およびその関連分野に関する論文、翻訳、研究ノート、書評、海外動向、などとし、随想、回顧録の類は除く。
- (2) 投稿資格：京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会所属専任教員および本学所属専任教員のうち、経費を継続して分担する者とする。
- (3) 原稿提出：完全原稿で、査読のためのハードコピーを添え、必ず電子媒体（CD など）の形で提出する。日本語論文の場合は、タイトルの英訳を添える。提出の期日は毎年 10 月 31 日とする。
- (4) 分量：注、引用文献リスト等を含め、日本語 20,000 字以内、英語 8,000 語以内を目安とする。
- (5) 体裁：*The MLA Handbook for Writers of Research Papers* を標準とする。日本語の場合は縦書き、横書きいずれも可とする。
- (6) 校正：三校まで。校正段階の大幅な訂正は認めない。
- (7) 編集権：編集委員会が編集権を持つ。
- (8) 著作権：掲載された論文等の著作権は編集委員会に帰属する。掲載論文を単行本に収録する場合は、執筆者から編集委員会あて文書で連絡する。図版・写真等を掲載する場合の著作権取得は執筆者が行い、その費用は執筆者が負担する。

- (9) デジタルアーカイブ化：本誌は刊行後、京都大学附属図書館リポジトリ「紅」に登録され、インターネット上で閲覧可能となる。論文のネット公開を望まない執筆者は、巻号、執筆者名およびタイトルを添えてその旨を京都大学附属図書館に知らせる。
- (10) 抜刷：執筆者用抜刷は30部とする。これを超えて希望する場合は執筆者が実費を負担する。
- (11) 発効：本規程は平成22年9月16日をもって発効する。
- (12) 改訂：本規程の改訂は、投稿資格を有する者の総数の三分の二の同意をもって行う。

編 集 後 記

☆ 『英文学評論』第91集をお届けします。ご寄稿いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

☆ 『英文学評論』は1954年に当時の教養部英語教室の先生方によって第1集が発行されました。それ以来、今年で第91集となりました。今後も、『英文学評論』の伝統を守り育ててゆきたいと願っています。

☆ 本年度末をもって、高谷修教授が定年を迎えられます。十八世紀英文学を研究してこられた先生のご学恩に、一同、心より感謝申し上げます。今後のご健勝と、一層のご活躍を祈念いたします。

☆ 『英文学評論』の専用ウェブサイトが開設されています。現会員の紹介のほか、第1集（1954年）から第90集までの全論文をお読みいただくことが可能です。

(<http://www.eibungaku.jinkan.kyoto-u.ac.jp/index.html>)

(編集委員)

英 文 学 評 論 第 91 集

非 売 品

平成31年2月25日 印刷

平成31年2月28日 発行

編 集 者 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
編集委員 高谷 修

印 刷 所 株 式 会 社 北 斗 プ リ ン ト 社

京都市左京区下鴨高木町38-2

発 行 所 京都大学 大学院人間・環境学研究科 英語部会
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XCI February 2019

CONTENTS

Introduction of a Primary Source:

The Sprague Committee Report, December 1960·····	Yuka TSUCHIYA	
	Shunsuke OKUDA	
	Shotaro SHINDO	··· 1
Edith Wharton, <i>Summer</i> (Translation) ······	Naoyuki MIZUNO	··· —

ENGLISH DEPARTMENT
GRADUATE SCHOOL OF HUMAN AND ENVIRONMENTAL STUDIES
KYOTO UNIVERSITY